



# 名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子  
(未来のための三つの心 自立心 向上心 思いやりの心)



## なかよし集中学習 (11月7日~12月9日)

今現在、人権週間(12月4日~10日)に併せて、小学校では「なかよし集中学習」を実施しています。こ

### 集中学習期間の主な取組

- 「ありがとうカード」の作成
- 人権啓発ビデオを通した学習
- なかよし標語の作成
- 人権集会

の期間の間に子ども達に人権について知ってもらい、自分たちの人権について集中的に考えるようにしています。子ども達に人権と言っても難しいので「楽しく学校生活を誰もが送るためにどうしたらよいか」という視点で考えています。

### ○「ありがとうカード」

児童会の提案で集中学習の最初の活動として始まりました。全校児童が「ありがとう」を伝えたい相手にカードにメッセージを書いてポストに入れます。それをその相手に届けます。直接はなかなか言えない相手に自分の気持ちを伝える大変よい機会となりました。

「いつもすれちがうたびに、声をかけてくれてありがとう。これからもよろしくね。」  
「きのうは遊んでくれてありがとう。すごかったよ。いつもありがとう。」

これはほんの一例です。同じクラス・学年、違う学年の人等、伝える相手はそれぞれですが、素敵な言葉があふれており受け取った友だちもとても温かい気持ちになっていました。児童会の児童が給食の時間に全校放送で紹介もしたりしながら、友だち、仲間とのつながりの大切さを伝えていました。

### ○なかよし標語

人権標語を各自で作成し、クラスで発表したり、友だちの作品を聞いたりしました。それぞれの作品には、作った人の思いがありそれを聞くとなるほどと思わず納得してしまう作品ばかりです。各クラスの作品は教室や廊下等に掲示され誰もがみられる状態になっています。また、クラスの代表作品となった児童は、全校の前でも発表をしました。

### ○人権集会

11月22日(火)全校児童が体育館に集まり、みんなで人権について考えました。その中でパワーポイントを使いながら、次のような話をしました。

「人は誰もが幸せに生活を送る権利を持っている」そしてみなさんも「楽しく学校生活を送る権利を持っている」そのために大切にしてもらいたい物として「言葉」について話をしました。人は人の良いところよりも悪いところに目が行ってしまい、人の良いところが見えなくなってしまう。だからこそ、意識して友だちの良いところを一つでも多く見つけら

れる人になろう。そして、見つけて伝えられる人は心が広くなり、多くの友だちから慕われるようになります。実際に友だちの良いところを見つけて言える人はクラスの中でもみんなから慕われています。これからの生活の中で友だちの良いところを一つでも多く見つけて伝えられるようにしましょう。



そして学校の中に温かい言葉があふれて、温かい学校、名和小学校にしていきましょう。

## 3年 人権教室

11月14日(月)人権擁護委員の方に来ていただき人権教室を開催しました。『人権』という言葉も3年生ではまだよく知りません。そこで、言葉の説明を子どもの持つ権利と合わせながら分かりやすく説明をしてもらいました。後半は身近な『人権』にかかわる『いじめ』についてDVDを見て学習をしました。見ての感想を一部抜粋し紹介します。

「いじめは人の生きる力を奪ってしまうこともある。」ということを知り、「いじめなんて無くなってしまえばいい。」と思いました。いじめを見たら先生に言うか、止めるかしようと思いました。いじめなんて絶対に許したくないと思いました。

## SNS の利用について

週末にタブレットの持ち帰りを全校で実施をしています。学校の学習では写真を撮って観察をしたり、新聞を作ったり、友だちとの意見交換の場として使ったり、発表用の資料を作ったりと発達段階に応じた幅広い活用をしています。持ち帰った際には、日ごろの学習の様子をお子さんと一緒にタブレットを通して見ていただき、お子さんの頑張りに声がけをしていただくと励みにもなります。

ところで、学校のタブレットだけでなく、携帯やゲーム機など多くの電子機器はインターネットにつながり外部の人と自由に繋がることができます。小学生ですとゲーム機を通して家族外の人、友だち等と繋がっている人が多いようです。高学年になると更に携帯やiPadを通して繋がっている人も多くいます。その中でトラブルになるケースが増えてきています。書き込んだ言葉の内容が問題であることもあります。また、一人に対して書いた言葉でもそれは誰もが見ることができます。記録は残ります。自分から書いた言葉には責任を持つと共に書いて良いことと悪いことはしっかりと判断をしてほしいです。また、ゲームで仲間はずれにしたり、ゲームの中での言葉の攻撃をしたりする等、ゲームの中でのトラブルがその後の友だち関係に影響をしていることがあります。このようなトラブルを減らすためにも次のことを再度ご家庭でも確認をして下さい。これらの約束は成長すればするほど難しくなります。

- 使用時間を決める(例:夕飯の後は使わない、〇時~〇時まで)
- 使用する場所を決める(例:自分の部屋に持ち込まない、食事中は机に出さない、置いておく場所を決める)
- フィルタリングを活用する(利用内容や時間の確認ができるものもある)
- 親がSNSを知る(子どもと一緒にやってみる、子どもから教わる)
- 子どものアカウントを見られるようにする。
- SNSでやってはいけないことを教える。その結果どのようなことが起きるかまで伝える(「おぜのかみさま」で確認をする)

お子さんが使用している内容を全て把握することは難しいことですが、このような約束をすることで、見られて困るような書き込みをしなくなったり、使い方を意識するきっかけにもなります。子ども達が成長すると共にトラブルの内容も複雑になり、家庭と学校だけでは処理ができない大きな問題にもなりかねません。小学生の段階で正しい判断、正しい使い方ができるようにさせていくことが大切です。学校でも定期的に情報モラルには触れていきますので学校と家庭と連携してすすめ、子ども達が正しく有効に活用できるようご理解ご協力をお願い致します。